

団体・サークル紹介 No.13

真岡市で活動している、市民活動団体やボランティアなどの紹介です



楊名時太極拳真岡「桜」

楊名時太極拳は中国武術を起源として日本に伝わった太極拳を、内臓や感覚など内面を修練するための柔拳として変化させ、老若男女を問わず誰でも取り組めるように生まれたものです。

私たちは、毎週水曜日の午後二宮コミュニティセンターで活動しています。ぜひ、見学にお越しください。



活動の様子

井頭公園など、屋外での活動も行っていきます。



イベントの様子

毎年、「真岡コラポまつり」に参加して、演舞を行っています。

【問い合わせ】 コラボレーもおか ☎81・5522 FAX81・5558 (月曜・祝日休館)

としょかん

真岡市立図書館

2・9・16 23・30日 (火)	午前10時～	◆英語おはなし会 シル・シルバン先生による 英語の絵本の読み聞かせ
13日 (土)	午後2時～	◆もおかとしょかんの おはなし会
13日 (土)	午後2時30分～	◆映写会(子ども向け) 「おしりたんてい」(40分)
16日 (火)	午後2時～	◆映写会(大人向け) 「100回泣くこと」(116分)
20日 (土)	午後2時～	◆おはなしの森

【休館日】 1・8・15・22日(月曜日)

【問い合わせ】 市立図書館 ☎84・6151 FAX83・6199

情報 4月

二宮図書館

4日 (木)	午前10時30分～	◆ひばりの会 読み聞かせ
13日 (土)	午前10時～	◆キャンドルの会 絵本の読み聞かせ & 工作 (おさんぼへびさんを作ろう)
18日 (木)	午後2時～	◆映写会(大人向け) 「華岡青洲の妻 前編」(129分)
23日 (火)	午前10時30分～	◆子育て支援センター 絵本の読み聞かせ
27日 (土)	午後2時～	◆にのみやとしょかんの おはなし会
27日 (土)	午後2時30分～	◆映写会(子ども向け) 「しまじろうのわお!」(38分)

【休館日】 1・8・15・22日(月曜日)

【問い合わせ】 二宮図書館 ☎74・0286

社会福祉協議会だより

2月に寄付をしてくださった方々(敬称略)ありがとうございました。

わたのみ基金

真岡テニス協会 52,418円

善意銀行

物品預託

薄井カイ 靴下カバー 140足
匿名 車いす 1台

金銭預託

落合 昌平 55,964円

【申し込み・問い合わせ】 社会福祉協議会 ☎82・8844 FAX82・5516

あの日あのころ

第384回
うえの すえひこ
上野 末彦さん
(田町在住・83歳)



数々の思い出の景色

私は昭和10年、大分県大分市の高崎山がある地域に生まれました。

若い頃は、横浜市の会社に勤めており、当時は妻と茅ヶ崎市の団地に住んでいました。家のすぐ後ろが海岸で、晴れた日には窓の外がきらきらして、とてもきれいなところでした。

義父が亡くなったこともあり、昭和41年に宇都宮支店に転勤し、真岡市に引越してきました。その頃はバスで宇都宮市まで通勤しており、自宅の前にバス停があつて、走る本数も多く生活するにはとても便利な立地でした。数年間バス通



▲トルコ旅行にて

勤をしたあと、車を購入し通勤が楽になりましたが、お酒を飲む回数が増え、結局バスで通勤することが多くなった時期もありました。栃木県に来るのは初めてで、周りには友人がいなかったため、心寂しくなるときもありました。そんな時、近所に住んでいる社会人ソフボール部の監督が声を掛けてくれ、喜んで入会しました。それからは友人が増え、生活も充実し、楽しい日々を送りました。

平成9年に定年退職し、その数年前から、妻と趣味で山登りを始めました。富士山からスタートし、山登りに慣れてきた頃、北岳や奥穂岳にも登りました。御嶽山に登る前日、麓でキャンプをしており、寝る前にふと空を見上げてみると、そこには宝石を散らし

たような今までに見たことのない壮麗な星空がありました。友人ら呼んで、皆で心に記憶するように、長い間空を見つめていました。少し肌寒い、空気の澄んだ夜のことでした。

また旅行も好きで、妻と色々な所に行きました。トルコに行ったときの添乗員と仲良くなり、後日、東トルコの実家に招待してくれました。彼は祭りが好きで、真岡の祭りにも興味があるとのことだったので、夏祭りの時期に招待しました。彼は周りの方からも歓迎され、私の半纏を貸してお神輿を担がせてもらいました。その時の彼の笑顔は今でも忘れられません。

ふるさとの大分は昔とは様変わりしましたが、変わらぬ絆が今も続いており、クラス会の時期には今も帰っています。今後も距離に関係なく友人を大切に、楽しく過ごしていければと思っています。

消費生活センターメモ

シリーズ 430

クリーニングのトラブル

季節の変わり目は、多くの方がクリーニングを利用しますが、衣類などの変色、型くずれ、縮み、紛失などの相談も多く寄せられています。クリーニングは衣類などの汚れやシミを落とし、新品同様の状態になることを期待しますが、一概にクリーニング業者の問題とは言えない場合もあります。

例えば、衣料品の素材や加工技術の変化によるもの、販売店での保管や展示による紫外線の影響、消費者自身の着用頻度・期間や保管方法などによっては、クリーニングすることで色あせやテカリが目立つようになることがあります。このように、原因の特定が困難な場合は、トラブルになることがあり、解決も難しくなります。

- ① 受け渡し時の点検がしっかりした店を選ぶ。
- ② クリーニングに出す前に、

- ③ 預かり証は必ず受け取り、保管する。
- ④ 引き取り時は、変色や収縮がないかお店の人と一緒に確認する。
- ⑤ ビニールカバーを外して保管する。

SマークやLDマークを表示している店は、トラブルが発生した場合、「クリーニング事故賠償基準」に基づいて賠償をしていますので、店選びの目安になります。ただし、利用者が洗濯物を受け取って6カ月を経過した後や、預けて1年間経過しても受け取りにいかなくなったときは賠償されませんので、ご注意ください。

ご相談は、消費生活センター(青年女性会館内)
毎週 月～金曜日
9:00～12:00
13:00～16:00
ハナシテナヤミナシ
☎84-7830
相談料無料